

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 川森 晋治

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,989	△14.3	9	△93.9	43	△74.4	△219	—
24年3月期第3四半期	13,982	17.5	149	△53.6	171	△53.9	92	△61.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	△128.77	—
24年3月期第3四半期	54.33	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭	円銭	
25年3月期第3四半期	9,048	—	3,292	—	36.4	1,932.44	—	
24年3月期	9,818	—	3,548	—	36.1	2,082.18	—	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,292百万円 24年3月期 3,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	15,980	△11.4	△54	—	△14	—	△281	—	△164.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	1,704,267 株	24年3月期	1,704,267 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	320 株	24年3月期	269 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	1,703,960 株	24年3月期3Q	1,704,058 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
2. 平成25年3月期の業績につきまして、平成24年10月23日に公表しました内容から変更しております。詳細は、平成25年1月31日付けの「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、売上高11,989百万円（対前年同期比14.3%減）、加工売上高2,219百万円（対前年同期比7.2%減）、営業利益9百万円（対前年同期比93.9%減）、経常利益43百万円（対前年同期比74.4%減）、四半期純損失219百万円（前年同四半期は四半期純利益92百万円）となりました。セグメント別の業績概要は、以下の通りです。

#### (電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は3,498百万円（対前年同期比8.6%減）、加工売上高は1,577百万円（対前年同期比7.3%減）となりました。中国向けの自動車関連部品およびパワーエレクトロニクス関連部品の在庫調整が長引いており、当初の想定通りの出荷にまでは至っていません。また、一部のスマートフォンでの減産観測から民生向けのコネクタ等でも生産調整が始まるなど、不安定な状況が続いています。その結果、当セグメントでの研究開発費224百万円の負担もあり、セグメント損失2百万円（前年同四半期はセグメント利益82百万円）となりました。

#### (電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、銅の価格水準が前年同期よりも低いことに加え、ボリュームの大きかった海外向け案件の受注が先送りとなったことなどから売上高は8,490百万円（対前年同期比16.4%減）、加工売上高642百万円（対前年同期比6.9%減）となりました。海外向け案件が先送りとなったものの、建設・電販向けは計画通りに推移し、異型線分野での新規受注の寄与もありました。その結果、セグメント利益は46百万円（対前年同期比47.2%減）となりました。

(注) セグメント利益又は損失の合計は四半期損益計算書の経常利益と一致しています。なお、詳細は(6)セグメント情報等をご覧ください。

単位（百万円）

	平成24年3月期 第3四半期累計期間				平成25年3月期 第3四半期累計期間				増減率	
	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	構成比	加工売上高	構成比	売上高	加工売上高
電子機能材事業	3,826	27.4%	1,701	71.1%	3,498	29.2%	1,577	71.1%	△8.6%	△7.3%
電気機能線材事業	10,155	72.6%	689	28.9%	8,490	70.8%	642	28.9%	△16.4%	△6.9%
合計	13,982	100.0%	2,391	100.0%	11,989	100.0%	2,219	100.0%	△14.3%	△7.2%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (貸借対照表の状況)

資産合計は9,048百万円となり、前事業年度末に比べ769百万円減少しました。これは受取手形及び売掛金が317百万円、有形固定資産が395百万円減少したことなどによるものです。負債合計は5,755百万円となり、前事業年度末に比べ514百万円減少しました。これは借入金が382百万円、未払法人税等が70百万円、役員退職慰労引当金が44百万円減少したことなどによるものです。純資産合計は3,292百万円となり、前事業年度末に比べ255百万円の減少となりました。これは、剰余金の配当と当第3四半期累計期間の四半期純損失を反映したものです。

#### (キャッシュフローの状況)

営業活動によるキャッシュフローは563百万円の収入となりました。主な収入は減価償却費343百万円、減損損失の226百万円および売上債権の減少額317百万円であり、主な支出は税引前四半期純損失216百万円、役員退職慰労引当金の減少額44百万円および法人税等の支払額76百万円であります。投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得による支出179百万円などにより161百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュフローは、短期借入金の純減少額100百万円、長期借入金の返済による支出282百万円、配当金の支払額34百万円などにより432百万円の支出となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ30百万円減少し814百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

欧州の債務危機やアジア諸国の成長鈍化などにより、世界経済の景気回復へのハードルは依然として高いままです。我が国においても、政権交代後に円高傾向が緩和される様相を見せてはいるものの、景気の先行きは不透明な状況です。

当社においても、主力とする電子機能材事業においてパワーエレクトロニクス関連部品の在庫調整や一部スマートフォンでの生産調整が始まるなど、予想に比して大幅な減益となっております。さらに大阪鍍金工業厚生年金基金の解散に伴う損失や事業用地の用途変更による減損などにより、当第3四半期累計期間に261百万円の特別損失を計上することとなりました。第4四半期においてもユーザー及びマーケット環境の好転は見込めず、引き続き厳しいものになることが予想されるため、業績予想の修正をすることとします。詳細については、本日（平成25年1月31日）公表しました「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」、「メガソーラー用地の賃貸に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	844,648	814,028
受取手形及び売掛金	4,041,013	3,723,851
仕掛品	252,602	246,692
原材料及び貯蔵品	258,435	285,771
繰延税金資産	18,910	31,448
その他	58,680	34,181
貸倒引当金	△6,823	△6,286
流動資産合計	5,467,466	5,129,686
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	956,279	897,494
機械及び装置（純額）	870,490	820,175
土地	2,068,155	1,863,981
建設仮勘定	100,851	23,295
その他（純額）	118,446	113,691
有形固定資産合計	4,114,223	3,718,639
無形固定資産	35,262	11,624
投資その他の資産		
投資有価証券	23,525	19,127
繰延税金資産	164,606	159,473
その他	33,513	30,135
貸倒引当金	△20,462	△20,462
投資その他の資産合計	201,182	188,273
固定資産合計	4,350,668	3,918,537
資産合計	9,818,134	9,048,223

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,024,604	3,047,767
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,214,936	1,169,936
未払法人税等	73,937	3,855
その他	317,767	261,950
流動負債合計	4,731,245	4,483,508
固定負債		
長期借入金	1,104,328	866,876
長期未払金	8,116	4,058
退職給付引当金	313,976	344,375
役員退職慰労引当金	101,590	56,632
その他	10,839	—
固定負債合計	1,538,850	1,271,941
負債合計	6,270,096	5,755,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,036,288	1,782,787
自己株式	△703	△773
株主資本合計	3,550,205	3,296,633
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,166	△3,860
評価・換算差額等合計	△2,166	△3,860
純資産合計	3,548,038	3,292,773
負債純資産合計	9,818,134	9,048,223

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	13,982,836	11,989,928
売上原価	12,853,078	11,054,013
売上総利益	1,129,757	935,915
販売費及び一般管理費	980,640	926,765
営業利益	149,117	9,149
営業外収益		
受取利息	12	4
受取配当金	519	697
助成金収入	28,074	35,743
スクラップ売却益	648	7,849
その他	9,222	5,522
営業外収益合計	38,477	49,817
営業外費用		
支払利息	14,469	12,099
売上割引	2,038	3,051
営業外費用合計	16,508	15,150
経常利益	171,086	43,816
特別利益		
固定資産売却益	172	832
受取保険金	6,500	—
特別利益合計	6,672	832
特別損失		
固定資産売却損	679	4,187
固定資産除却損	6,015	12,670
投資有価証券評価損	3,197	—
減損損失	—	226,534
厚生年金基金解散に伴う損失	—	17,812
特別損失合計	9,892	261,203
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	167,867	△216,554
法人税、住民税及び事業税	52,208	9,341
法人税等調整額	23,083	△6,473
法人税等合計	75,292	2,867
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92,575	△219,421



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	167,867	△216,554
減価償却費	330,497	343,426
減損損失	—	226,534
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,282	△44,958
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	26,714	30,398
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,834	△537
受取利息及び受取配当金	△531	△702
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,197	—
支払利息	14,469	12,099
有形固定資産売却損益 (△は益)	506	3,354
固定資産除却損	6,015	12,670
厚生年金基金解散に伴う損失	—	17,812
売上債権の増減額 (△は増加)	506,207	317,161
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△117,867	△17,456
仕入債務の増減額 (△は減少)	284,100	23,162
その他	△115,872	△38,945
小計	1,104,751	667,466
利息及び配当金の受取額	531	702
利息の支払額	△13,725	△12,066
法人税等の支払額	△148,662	△76,407
厚生年金基金解散に伴う支出	—	△17,812
その他	11,469	1,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	954,365	563,609
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△911	△923
投資有価証券の売却による収入	—	3,500
有形固定資産の取得による支出	△811,612	△179,615
有形固定資産の売却による収入	260	19,401
有形固定資産の除却による支出	—	△6,076
無形固定資産の取得による支出	△2,300	—
その他	△669	2,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△815,232	△161,370

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	△100,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△204,122	△282,452
長期未払金の返済による支出	△4,058	△4,058
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,194	△12,194
自己株式の取得による支出	△182	△70
配当金の支払額	△107,586	△34,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	171,856	△432,859
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	310,989	△30,620
現金及び現金同等物の期首残高	317,224	844,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	628,214	814,028

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,826,967	10,155,869	13,982,836
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,826,967	10,155,869	13,982,836
セグメント利益	82,855	88,231	171,086

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,498,995	8,490,932	11,989,928
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,498,995	8,490,932	11,989,928
セグメント利益又は損失（△）	△2,734	46,551	43,816

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
減損損失	1,300	—	1,300

報告セグメントに配分されていない減損損失は225,233千円であります。これは従来報告セグメントに含まれていた一部の資産につきまして、貸借借目的に変更したことに伴い全社管理の資産に振替えられたもの等から発生しております。